令和３年度 授業改善推進プラン 体育科

	観点別		
学年	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
１年	・各種の運動遊びを通して、基本的な動きを身に付けられるように教材を工夫する。 ・鬼遊びを通して、素早く動く力を伸ばしていくようにする。	・簡単なルールを決めたボールゲームや鬼遊び、リレーなどを通して、ルールを守ったり工夫したりして楽しく運動ができるようにする。	・運動の楽しさを味わうことのできる場の設定や教材の工夫をする。 ・活動意欲を認め、きまりを分かりやすくして運動することができるようにする。
２年	・器械を使っての運動遊びに重点的に取り組ませ、逆さ感覚、回転感覚、腕支持感覚など基礎的な運動感覚を養うための指導を行う。 ・ボール運動では、小グループ活動を通して、教え合いながら互いに技能を高め合うことができるようにする。また、自己の技能を高める場も設定する。 ・水遊びでは、移動する運動遊びやもぐる・浮く運動遊びを行い、水に親しむ。	・技能を高めるためには、どうすればいいのかを個や集団で考えるようにし、よりよい方法を選択することができるように指導を工夫する。	・ルールや約束を守って活動するための場の工夫、指導展開の工夫を行う。 ・音楽に合わせた表現遊びができるような場を意図的に設定する。準備運動、整理運動にもリズム遊びを取り入れる。
３年	・技のポイントやよい動きなど、映像を活用して児童に提示するとともに、友達の動きのよさに目を向けさせる。 ・めあて、ふり返りカードを活用し、自分の動きやゲームの作戦、工夫したところなどを記述できるようにする。 ・保健の学習では、より具体的に理解できるように情報機器を用いたり、実験的な活動を行ったりする。	・技のポイントやよい動きなど、映像を活用して児童に提示するとともに、友達の動きのよさに目を向けさせる。 ・めあて、ふり返りカードを活用し、自分の動きやゲームの作戦、工夫したところなどを記述できるようにする。	・運動の特性を理解し、児童に運動の楽しさを味わわせることができるような単元の計画、場の設定、活動の工夫を行う。
４年	・基本的な動きや技能を身に付けるために、スモールステップで、段階を追って発展させていく。 ・運動のポイントが分かるような学習資料を提示し、児童が活用できるようにする。また、それをもとに次時のめあてを具体的に立てられるようにする。 ・保健の学習では、第2発育急進期や一人一人の個性について学習し、命の尊さやつながりについてしっかり理解させる。	・児童一人一人が課題をもって運動に取り組むことができるよう、めあてをもって取り組ませる。 ・ペア、もしくはトリオでの活動を取り入れて「見合う」機会をとり伝え合う場を設けるとともに、動きの良さやポイントを理解できるようにする。	・運動の特性を理解し、児童に運動の楽しさを味わわせることができるような単元の計画、場の設定の工夫を行う。
５年	・児童一人一人に技能に関する具体的なめあてをもって学習に取り組ませ、振り返りをさせることによって次の学習に生かせるようにさせる。 ・体つくり運動（体力を高める運動）を通して、持久力を高めるように指導する。 ・心の健康・けがの防止について自分の生活を振り返り、簡単な対処法や予防法を理解させる。	・ペアやグループで学習に取り組ませる。見合うポイントを指導し、それができたかできないかを児童同士で考え、伝え合う場を設ける。 ・話し合いや振り返りなどで、お互いに安全や健康について考える機会を多くする。	・児童同士が励まし合い認め合う場を多く設定し、運動する意欲を高められるようにする。 ・学習カードに記録をとったり、感想を書いたりして、自分なりの価値観がもてるよう指導する。
６年	・グループ活動での教え合いやスモールステップでの活動を通して、それぞれの運動の特性に応じた技能が身に付けられるようにする。 ・体つくり運動などで、巧みな動き、持久力を高めることを中心に指導する。 ・病気の予防について、自分の生活と結びつけるなど、指導の充実を図る。また、薬物乱用防止教室を通して学習内容の定着を図る。 ・「早寝・早起き・朝ごはん週間」を実施し、自分の生活を振り返り、今後に生かせるようにさせる。	・めあてを明確にもたせ、自己の能力に適した課題の解決の仕方や運動の取り組み方を工夫できるように、自分の力に合った運動の行い方を選べるように助言する。 ・タブレットパソコンやデジタル教材、映像等を活用し、自分の動きを見たり、よい動きを見合ったりする活動を積極的に取り入れる。 ・学習カードを活用し、めあてに対する自分の学習の様子や成果を振り返らせる。	・集団での関わり合いからお互いのよさを認め合い、高め合えるように指導する。 ・運動の楽しさや喜びをより一層深められるよう、運動の特性や良さを指導する。